

【6日目】8/19 ・シドニー近郊でのホームステイ

1日ホストファミリーと過ごす。それぞれのステイ先で、思い思いのオーストラリアライフを楽しんだ。教会に連れていってもらったり、市内でショッピングを楽しんだり。English only の生活だったが、生徒はファミリーと積極的にコミュニケーションをとり、有意義なホームステイとなる。

〔生徒感想〕

- ・オーストラリアならではの多国籍な感じで、いろいろな料理を食べた。会話はあまり思い通りにはいかなかったが、いつもはあきらめてしまうタイミングでも根気強く話すことができた。
- ・ミャンマーの宗教のイベントに連れていってもらった。自分は宗教の集まりは初めてで新鮮で楽しかった。ご飯はオーストラリアにいながらインド料理やミャンマー料理を食べることができ、オーストラリアの多文化社会を身をもって体感できた。



にぎやかなホストファミリーと



貴重な経験になりました



ホストファミリーとミート



ホームステイは2泊しました

【7日目】8/20 ・Our Lady Queen of Peace Primary School 訪問 ・シドニー空港へ

シドニー市内の小学校を訪問。月曜日のため初めに全校集会があり、その中で紹介を受け生徒代表挨拶を行った。午前中は、生徒たちは3グループに分かれて5,6年生の授業に参加。常に生徒の発言を促す授業形態や授業中でも飲食を許されていることなど、日本とオーストラリアの学校の違いに驚いた様子。午後は、2時間授業をいただき、土浦一高の紹介や日本に関するクイズ、福笑いゲームを行い、小学校の子供たちと楽しい一日を過ごした。

空港に向かうまで、シドニー大学を車窓から見学し、シドニー市内で最後のショッピングを楽しんだ。

〔生徒感想〕

- ・訪問した小学校の授業は教科書、ノート、黒板が使われずに行われていた。午後みんなと一緒にいった授業を小学生たちが喜んでくれてとてもうれしかったです。

- 日本語の授業があるからなのか、みんな「こんにちは」「おはよう」と日本語で積極的に話しかけてきてくれて嬉しかった。福笑いも思ったより盛り上がってくれて良かった。日本クイズも成功できてよかった。
- 教室の雰囲気から日本とはまるで違い、机いすは最初から丸くグループ状態になっていて、授業はPCやIPADを皆使って受けていた。先生からの問いかけにもものすごい人数が手を挙げるのにも驚いた。



生徒代表挨拶



Our Lady Queen of Peace Primary School の全校集会



授業に参加。リンゴ食べている子も…



日本の授業とはだいぶ違うような



昼休みにゲームの準備



福笑いゲームの説明





ゲームは子供たちも大喜びでした



校長先生と記念撮影

【8日目】8/21 ・帰国 5:15 ・解散式 6:00

羽田空港での解散式で修了証を手渡す。



修了式の様子



修了証書をいただきました

## 7 アンケート結果

(1) 自分が当初目標にしたことと、その目標への自己達成度

- ・自分で考え、行動し、高いコミュニケーション能力を身につける 80%
- ・精神力をきたえる、英語でのプレゼンに慣れる、文化の違いを知る 70%
- ・プレゼンをとどこおりなく行う 70%
- ・オズハーベストのあるオーストラリアで食品ロスを知る 80%
- ・自分たちのビジネスプランをもっと確かなものにし積極的に英語にかかわること 30%
- ・途中経過としてのプレゼンを成功させて今後のビジネスに有用な情報を集める 60%
- ・メリハリをつけて1日1日を充実させる。 60%

(2) 印象に残っていること、学んだこと、自分が変容したと思うこと

- 今回の研修で一番初めに思い出すのはタスマニアの空です。空気が澄んでいて、空が青々と見えました。
- 海外でははっきりと言うことが普通だと知りました。どちらが良いか?と聞かれ、どちらでも良いと言っても、いつも Yes or No?と聞き返されました。もっと自分の意見をしっかり持ちたいと思いました。
- 最も印象に残っているのはフィールドワーク。自信をつけることができた。
- 英語でのコミュニケーションの楽しさ、自分とは違う文化を知ることの楽しさを知ることができ、興味の幅が広がった気がする。
- 最も印象に残っているのは、タスマニア大学でのプレゼンとシドニー近郊でのホームステイ。ホームステイでは、自分の話す言葉が通じたのが嬉しく、少し英語に自信ついた。
- 今までには自分に対する自信や英語力に対する自信が全然持てなかったが、今回の研修を通して自信が少しついた。
- 自分の意思を言葉で示して発信することの大切さを知りました。
- 今回の研修はとても刺激的で全てが印象に残っている。特に企業訪問では、日本から出て世界で活躍している方たちの貴重なアドバイスをいただけたのは本当に良かったと思う。大学での発表もそうだが、人前で発表し、もらう意見というのは自分たちではなかなか気づかないようなものばかりなので、やはり多くの人にアドバイスをいただけるのは貴重な体験だった。
- 「積極的に英語に関わること」を目標にしたが、shyな部分が出てしまい、大学生とも小学生とも余りしゃべれずに終わってしまったため、英語に関しては後悔が残る研修となってしまった。
- 最も印象に残っているのはオーストラリアの人々の国民性である。人々がとても優しくフレンドリーな方が多かった。移民の国ならではの独特な国民性だと思った。今回の研修の1週間は、日本での普段の1週間よりはるかに何回も「ありがとう」を言ったと感じた。また、今回の研修を通して自分が変容したと思うことは、文化を見る目が変わったことが一つである。多文化の国で様々な文化に触れて1つ1つの文化に良いところも相似点もあって、だからこそ理解する大切さを学んだ。もう一つはビジネス的視点である。doqに行ってプレゼンをしてフィードバックをもらって、ビジネスは長期的に展開していくもので、様々な要因や要素から成り立つものだと感じた。ターゲットの絞り方なども学んだので、これから先ビジネスをつくるにおいて貴重な経験ができ成長できた。
- 最も印象に残っているのは、街頭調査をした後の人々の笑顔だ。それは自分なりに勇気を出した結果として十分すぎるほどのものであり、とても嬉しく思った。最初は少し怖そうだと思ってた人も、笑顔が見られるとこちらも安心できた。ここから、人とコミュニケーションをとる上で笑顔はとても有効だということを知った。これは仕事だけに留まらず毎日を楽しむものでもあると思うので、ぜひ身につけていきたい。
- 今回の研修を通じて、自分は積極性が身についたと思う。幼い頃からとても積極的とは言えない性格で、そのために苦労することも多々あった。それが様々な経験を重ねるうちに、人とのコミュニケーションを、すすんで楽しんでできる力というものもとても大事だと知った。この研修ではこのことも目標の一つであったので、実際に行動に移して、その力を得られたことはとても嬉しく思う。